



はじめに

Workload Factory for NetApp Console

NetApp
October 07, 2026

目次

はじめに	1
NetApp Workload Factoryについて学ぶ	1
機能	1
サポートされているクラウド プロバイダ	2
セキュリティ	2
コスト	2
Workload Factoryの仕組み	2
NetApp Workload Factoryを使用するためのツール	3
NetApp Workload Factoryのクイックスタート	4
NetApp ConsoleからWorkload Factoryにサインアップしてログインする	4
Amazon FSx for NetApp ONTAP の使用を開始する	4
OCI NetApp ストレージサービスの利用開始	4
Google Cloud NetApp Volumes の使用を開始する	4
NetApp ConsoleからWorkload Factoryにサインアップしてログインする	4
NetApp Workload Factory のリンクについて	5
リンクが有益な理由	5
リンクの仕組み	5
費用	5
リンクが必要な場合	6
関連情報	6
NetApp Workload Factoryの権限	6
権限を使用する理由	6
権限の使用方法	7

はじめに

NetApp Workload Factoryについて学ぶ

NetApp Workload Factoryは、Amazon FSx for NetApp ONTAP、Google Cloud NetApp Volumes、およびOracle Cloud Infrastructure NetApp Storage Serviceを使用してワークロードを最適化できるように設計された、強力なライフサイクル管理プラットフォームです。

ワークロードとは、ビジネス目標を達成するために設計された、リソース、コード、サービス、またはアプリケーションの組み合わせを指します。これは、顧客向けアプリケーションからバックエンドプロセスまで、あらゆるものを指す可能性があります。ワークロードは、単一のAWSアカウント内のリソースの一部に関わる場合もあれば、複数のアカウントにまたがる場合もあります。

機能

Workload Factoryプラットフォームは、以下の主要な機能を提供します。

柔軟で低コストなストレージ

クラウド上のストレージシステムを検出、導入、管理します。ご利用のクラウド ストレージ プロバイダは、一貫したハイブリッドクラウド体験を提供するネイティブなマネージドサービスに、ONTAPのフル機能を提供します。

オンプレミスのvSphere環境をVMware Cloud on AWSに移行

VMware Cloud on AWS移行アドバイザーを使用すると、オンプレミスのvSphere環境における現在の仮想マシン構成を分析し、VMware Cloud on AWSに推奨されるVMレイアウトをデプロイする計画を作成して、カスタマイズされたAmazon FSx for NetApp ONTAPファイルシステムを外部データストアとして使用できます。

データベースライフサイクル管理

Amazon FSx for NetApp ONTAPを使用してデータベースワークロードを検出し、コスト削減を分析します。SQL ServerデータベースをFSx for ONTAPストレージに移行する際に、ストレージとアプリケーションのメリットを活用します。ベンダーのベストプラクティスを実装したSQL Server、データベース、データベースクローンを導入します。Infrastructure as Codeコパイロットを使用して運用を自動化します。SQL Server環境を継続的に監視および最適化して、パフォーマンス、可用性、保護、コスト効率を向上させます。

Ask Me AIアシスタント

ストレージシステムの管理や運用について、AIアシスタントに質問してみましょう。モデルコンテキストプロトコル（MCP）を使用することで、Ask Meは外部環境と安全に連携し、APIツールにクエリを実行して、お客様固有のストレージ環境に合わせた応答を提供します。



アカウント管理者は、AI機能をオンまたはオフに切り替えることができます。管理者がこれらの機能を無効にした場合、Ask Me AIアシスタントは利用できなくなります。["AI機能の管理について"](#)。

サポートされているクラウド プロバイダ

Workload Factoryを使用すると、Amazon FSx for NetApp ONTAP、Google Cloud NetApp Volumes、およびOracle Cloud Infrastructure NetApp Storage Service（OCI NSS）でクラウド ストレージを管理し、ワークロード機能を使用できます。

セキュリティ

NetApp Workload Factoryのセキュリティは、NetAppにとって最優先事項です。NetApp Workload Factoryは["SOC2 Type 1準拠、SOC2 Type 2準拠、およびHIPAA準拠"](#)を取得しています。

コスト

Workload Factoryは無料で利用できます。クラウド プロバイダにお支払いいただく費用は、導入予定のストレージサービスとワークロードサービスによって異なります。これには、ストレージシステム、インフラ、サービスなどの費用が含まれます。

Workload Factoryの仕組み

Workload Factoryには、SaaSレイヤを通じて提供されるWebベースのコンソール、アカウント、クラウド環境へのアクセスを制御する権限ポリシー、Workload Factoryとクラウドアカウント間の接続などが含まれます。

サービスとしてのソフトウェア

Workload Factoryは["NetApp Console"](#)からアクセスできます。このSaaS環境により、最新機能がリリースされると自動的にアクセスできるだけでなく、Workload Factoryのアカウントやリンク間を簡単に切り替えることができます。

サインアップとアクセス管理

NetApp Consoleを使用するには、NetApp Support Siteのクレデンシャルでサインアップするか、NetApp Consoleのログインを作成する必要があります。最初のユーザーが組織管理者となり、ユーザーアカウントと権限を管理します。役割を更新したり、管理者を追加したりするのは後からでも可能です。

- ["NetApp Consoleへのサインアップおよびログイン方法について説明します。"](#)
- ["NetApp ConsoleのIDアクセス管理について"](#)

権限

Workload Factoryは、柔軟なアクセス許可ポリシーを提供し、クラウド環境へのアクセスをきめ細かく制御し、ITポリシーに基づいてWorkload Factoryへの信頼度を段階的に割り当てることができます。

["Workload Factoryの権限ポリシーについて詳しくはこちらをご覧ください"](#)

Codebox自動化

Codeboxは、開発者やDevOpsエンジニアがWorkload Factoryでサポートされるあらゆる操作を実行するために必要なコードを生成するのを支援する、Infrastructure as Code（IaC）コパイロットです。コード形式には、Workload Factory REST API、クラウド プロバイダのCLI、Terraformなどがあります。

Codeboxは、実行準備のための明確な道筋を示すとともに、将来の迅速な再利用を可能にする自動化カタログを提供します。

Codeboxペインには、特定のジョブフロー操作によって生成され、グラフィカルウィザードや対話型チャットインターフェースと対応するIaCが表示されます。Codeboxは、ナビゲーションや分析を容易にするためのカラーコーディングと検索をサポートしていますが、編集はできません。Automation Catalogへのコピーまたは保存のみが可能です。

["Codeboxについて詳しくはこちらをご覧ください"](#)

適切に設計されたワークロード

Workload Factoryは、AWS Well-Architected Frameworkに準拠した、信頼性が高く、安全で、効率的で、対費用効果の高いストレージおよびデータベース構成の維持と運用を支援します。Workload Factoryは、FSx for ONTAPファイルシステム、SQL Server、およびOracleデータベースの導入環境を毎日スキャンして、潜在的な設定ミスに関するインサイトを提供し、問題を解決するための手動または自動のアクションを推奨します。

["適切に設計されたワークロードについて詳しくはこちらをご覧ください"](#)

NetApp Workload Factoryを使用するためのツール

NetApp Workload Factoryは、以下のツールで使用できます：

- **NetApp Console**：NetApp Consoleはハイブリッドインターフェース環境を提供するため、Workload Factoryを他のNetAppデータサービスと併用できます。
- **Ask Me**：Ask Me AIアシスタントを使用して質問し、NetApp Consoleから離れることなくWorkload Factoryについてさらに詳しく知ることができます。
- **CloudShell CLI**：Workload FactoryにはCloudShell CLIが含まれており、単一のブラウザベースのCLIから複数のアカウントにわたるAWSおよびNetApp環境を管理および運用できます。
- **REST API**：Workload Factory REST APIを使用して、ストレージシステムやその他のリソースをデプロイおよび管理します。
- **NetApp Terraform provider**：Terraformを使用して、Workload FactoryのNetApp Consoleで生成されたインフラストラクチャワークフローを構築および管理します。

REST API

Workload Factoryを使用すると、特定のワークロードに合わせてクラウドストレージシステムを最適化、自動化、運用できます。各ワークロードは、関連付けられたREST APIを公開します。これらのワークロードとAPIを総合的に活用することで、ストレージシステムの管理に利用できる、柔軟で拡張性の高い開発プラットフォームが構築されます。

Workload FactoryのREST APIを使用するメリットはいくつかあります：

- これらのAPIは、RESTテクノロジーと最新のベストプラクティスに基づいて設計されています。主要技術にはHTTPとJSONが含まれます。
- Workload Factoryの認証は、OAuth2標準に基づいています。NetAppはAuth0サービスの実装に依存しています。
- Workload FactoryのWebベースのコンソールは同じコアREST APIを使用するため、2つのアクセスパス間で一貫性が保たれています。

["Workload Factory REST APIドキュメントを表示"](#)

NetApp Workload Factoryのクイックスタート

NetApp Workload Factoryは、NetApp Consoleからクラウドデータサービスとしてユーザーがアクセスできます。Workload Factoryの使用を開始するには、NetApp Consoleでサインアップしてアカウントを作成し、クラウド プロバイダの認証情報を追加して、Workload Factoryがリソースを直接管理し、ワークロードを最適化できるようにします。

始める前に、["Workload Factory"](#)について理解しておく必要があります。

NetApp ConsoleからWorkload Factoryにサインアップしてログインする

["NetApp ConsoleからWorkload Factoryにサインアップしてログインする"](#)

次に、お使いのクラウド プロバイダの **Quick start** リンクを選択して開始します。

Amazon FSx for NetApp ONTAP の使用を開始する

["Amazon FSx for NetApp ONTAPのクイックスタート"](#)

OCI NetApp ストレージサービスの利用開始

["OCI NetApp ストレージサービスのクイックスタート"](#)

Google Cloud NetApp Volumes の使用を開始する

["Google Cloud NetApp Volumes のクイックスタート"](#)

NetApp ConsoleからWorkload Factoryにサインアップしてログインする

NetApp Workload Factoryは、NetApp Consoleからアクセスできます。コンソールを使用するには、NetApp Support Siteの認証情報を使用してサインアップまたはログインするか、NetApp Consoleのログインを作成します。お客様が社内で最初にサインアップする場合は、管理者として新しい組織を作成します。お客様の会社ですでに組織がある場合は、既存のNetApp Support Siteの認証情報、または会社のシングルサインオン（SSO）を使用してサインアップまたはログインします。

<stdin> の未解決のディレクティブ - include::https://raw.githubusercontent.com/NetAppDocs/console-setup-admin/main/_include/task-sign-up-saas.adoc[]

結果

ログインが完了しました。Workload Factoryを使用して、ストレージシステムとワークロードの管理を開始できます。Workload Factoryにアクセスするには、メインメニューから*ワークロード*を選択します。

NetApp Workload Factory のリンクについて

NetApp Workload Factoryリンクは、Workload Factoryアカウントと1つ以上のクラウドストレージシステムとの間に信頼関係と接続性を確立します。これにより、クラウドプロバイダAPIでは利用できないONTAP REST API呼び出しから直接、ストレージシステムの特定の機能を監視および管理できるようになります。

Workload Factory を使い始めるのにリンクは必要ありませんが、場合によっては、Workload Factory のすべての機能とワークロード機能を有効にするためにリンクを作成する必要があります。

リンクが有益な理由

リンクは、クラウドプロバイダのAPIを通じてネイティブには利用できない操作をWorkload Factoryが実行できるようにするため、有益です。リンクによって高度なONTAP機能と自動化が有効になり、クラウドストレージシステムの管理が強化されます。

リンクを使用するメリットをいくつかご紹介します：

- このリンクにより、NetApp Consoleからクラウドストレージシステムに直接ONTAPコマンドを送信できるようになり、クラウドプロバイダがネイティブに提供する以上の高度なONTAP機能を利用できるようになります。
- リンクは、リモートのサーバーレス関数を活用して、イベントに応じてコードを実行します。このサーバーレス方式では、VPC内でインスタンスを実行する必要性がなくなります。

リンクの仕組み

リンクは、AWS LambdaやOracle Cloud Infrastructure Functionsなどのリモートサーバーレスコンピューティングサービスを活用します。これらのサービスは、イベントに応じてコードを実行し、そのコードに必要なコンピューティングリソースを自動的に管理します。作成したリンクはお客様のNetAppアカウントの一部であり、対応するクラウドプロバイダアカウントに関連付けられます。

リンクを作成した後、それを1つまたは複数のクラウドストレージシステムに関連付けることができます。各クラウドストレージシステムは、同じNetAppアカウント内の1つのリンクにのみ関連付けることができます。複数のNetAppアカウントがある場合、単一のクラウドストレージシステムを、異なるNetAppアカウントの追加のリンクに関連付けることができます。

クラウドストレージシステム用のNetApp Consoleのリンクページから、リンクを作成して関連付けます。

Workload Factoryの認証情報サービスに保存されている認証情報、またはクラウドプロバイダの認証情報サービスを使用して、リンクを認証できます。Workload Factoryは認証モードの変更をサポートしていません。

費用

お客様のクラウドプロバイダのサーバーレスコンピューティングサービスが実行する各トランザクションには、料金が発生します。2つのシステム間のプロキシとして機能するため、サービスがファイルシステム上のONTAP REST APIにリクエストを送信する際、およびWorkload Factoryに応答を返す際に料金が発生します。

- ["AWS Lambdaの使用に関連するコストについて詳しくはこちらをご覧ください。"](#)
- ["Oracle Cloud Infrastructure Functionsの使用に関連するコストについて詳しくはこちらをご覧ください"](#)

リンクが必要な場合

Workload Factoryは、一部の情報を表示したり、一部のタスクを実行したりするためにリンクを必要とします。リンクを必要とする操作を実行しようとした際に、クラウドストレージシステムとリンクを関連付けていない場合、Workload Factoryは操作にリンクが必要であることを通知します。

リンクが必要な機能は以下のとおりです：

- 予防保守、信頼性、およびコストパフォーマンスの最適化のためのクラウドストレージシステム構成の適切なアーキテクチャ状態
- ONTAP EMS イベントの監視とアラート
- NetApp Autonomous Ransomware Protection (ARP/AI)
- クラウドストレージシステム全体にわたる包括的な容量監視機能の強化
- ボリュームとStorage VMのデータレプリケーション、管理、および監視
- SMB/CIFS共有およびNFSエクスポートポリシーのプロビジョニングと管理
- クラウドストレージシステムにおけるiSCSIボリュームの管理
- カスタム保護SLAのためのスナップショットポリシーの作成と管理
- 自動容量管理のためのinode管理機能強化
- 柔軟なスケーリングのためのボリュームの自動拡張
- クローン作成と管理により、即座にその場でデータクローンを作成できます。
- システムバージョンなどの追加メトリクスをクラウドストレージシステムから直接表示します
- ストレージVMとクラスタLIFの詳細（ロール、エンドポイント、ノード、IPアドレス、ステータスなど）の表示

関連情報

次のリンクを作成および関連付ける方法を確認します：

- ["Amazon FSx for NetApp ONTAP"](#)
- ["OCI NetAppストレージサービス"](#)

NetApp Workload Factoryの権限

NetApp Workload Factoryの機能とサービスを使用するには、Workload Factoryがクラウド環境で操作を実行できるように権限を付与する必要があります。

権限を使用する理由

権限を付与すると、Workload Factoryは、クラウド プロバイダアカウント内のリソースとプロセスを管理する権限を持つポリシーをインスタンスにアタッチします。これにより、Workload Factoryは、ストレージ環境の検出から、ストレージ管理におけるボリュームなどのクラウド リソースのデプロイまで、さまざまな操作を実行できるようになります。

たとえば、FSx for ONTAPデータベースワークロードの場合、Workload Factoryに必要な権限が付与される

と、指定されたアカウントとリージョン内のすべてのEC2インスタンスをスキャンし、すべてのWindowsベースのマシンをフィルタリングします。AWS Systems Manager (SSM) エージェントがホストにインストールされて実行されており、System Managerのネットワークが正しく構成されている場合、Workload FactoryはWindowsマシンにアクセスして、SQL Serverソフトウェアがインストールされているかどうかを確認できます。

権限の使用方法

Workload Factoryは、特定のタスクを実行するために権限を使用します。権限は、一連の権限ポリシーにまとめられています。権限ポリシーは"[コードボックス](#)"に表示され、コピー可能なJSONです。各クラウド プロバイダは、そのクラウド環境の特定の要件と機能に合わせて調整された独自の権限ポリシーセットを備えています。このドキュメントでは、各クラウド プロバイダの権限リファレンスを提供します。

クラウド プロバイダ別の権限リファレンス

ご利用のクラウド プロバイダの権限要件については、以下のページを参照してください：

- "[Amazon FSx for NetApp ONTAP](#)"
- "[OCI NetAppストレージサービス](#)"

著作権に関する情報

Copyright © 2026 NetApp, Inc. All Rights Reserved. Printed in the U.S. このドキュメントは著作権によって保護されています。著作権所有者の書面による事前承諾がある場合を除き、画像媒体、電子媒体、および写真複写、記録媒体、テープ媒体、電子検索システムへの組み込みを含む機械媒体など、いかなる形式および方法による複製も禁止します。

ネットアップの著作物から派生したソフトウェアは、次に示す使用許諾条項および免責条項の対象となります。

このソフトウェアは、ネットアップによって「現状のまま」提供されています。ネットアップは明示的な保証、または商品性および特定目的に対する適合性の暗示的保証を含み、かつこれに限定されないいかなる暗示的な保証も行いません。ネットアップは、代替品または代替サービスの調達、使用不能、データ損失、利益損失、業務中断を含み、かつこれに限定されない、このソフトウェアの使用により生じたすべての直接的損害、間接的損害、偶発的損害、特別損害、懲罰的損害、必然的損害の発生に対して、損失の発生の可能性が通知されていたとしても、その発生理由、根拠とする責任論、契約の有無、厳格責任、不法行為（過失またはそうでない場合を含む）にかかわらず、一切の責任を負いません。

ネットアップは、ここに記載されているすべての製品に対する変更を随時、予告なく行う権利を保有します。ネットアップによる明示的な書面による合意がある場合を除き、ここに記載されている製品の使用により生じる責任および義務に対して、ネットアップは責任を負いません。この製品の使用または購入は、ネットアップの特許権、商標権、または他の知的所有権に基づくライセンスの供与とはみなされません。

このマニュアルに記載されている製品は、1つ以上の米国特許、その他の国の特許、および出願中の特許によって保護されている場合があります。

権利の制限について：政府による使用、複製、開示は、DFARS 252.227-7013（2014年2月）およびFAR 5252.227-19（2007年12月）のRights in Technical Data -Noncommercial Items（技術データ - 非商用品目に関する諸権利）条項の(b)(3)項、に規定された制限が適用されます。

本書に含まれるデータは商用製品および / または商用サービス（FAR 2.101の定義に基づく）に関係し、データの所有権はNetApp, Inc.にあります。本契約に基づき提供されるすべてのネットアップの技術データおよびコンピュータ ソフトウェアは、商用目的であり、私費のみで開発されたものです。米国政府は本データに対し、非独占的かつ移転およびサブライセンス不可で、全世界を対象とする取り消し不能の制限付き使用权を有し、本データの提供の根拠となった米国政府契約に関連し、当該契約の裏付けとする場合にのみ本データを使用できます。前述の場合を除き、NetApp, Inc.の書面による許可を事前に得ることなく、本データを使用、開示、転載、改変するほか、上演または展示することはできません。国防総省にかかる米国政府のデータ使用权については、DFARS 252.227-7015(b)項（2014年2月）で定められた権利のみが認められます。

商標に関する情報

NetApp、NetAppのロゴ、<http://www.netapp.com/TM>に記載されているマークは、NetApp, Inc.の商標です。その他の会社名と製品名は、それを所有する各社の商標である場合があります。